

次の **I** の問題は新課程の歴史総合の問題です。「世界史(新)」の受験者が解答してください。(解答番号は **1** ～ **7** )

**I** 第二次世界大戦後のアジアの国々の独立について、次の文章を読み、下の問い(問1～問7)に答えよ。(28点)

第二次世界大戦中、日本は欧米諸国の植民地がある中国・東南アジアへの侵略政策を展開したが、各地で日本の侵略に対する抗日運動、または民族運動がおこった。戦中のこのような運動を基礎として、戦後はアジアの各地域が独立に向かって動いた。

第二次世界大戦において日本に勝利した中国(中華民国)は、戦後、当時政権を担っていた **A** と、戦時中から支配地域を拡大しつつあった **B** によって内戦が繰り広げられた。**B** の指導者である **C** は、1949年10月に中華人民共和国の成立を宣言した。そのため、中華民国政府の **D** は台湾に逃れた。

戦後、朝鮮半島は、北緯38度線より北を **E** に、南を **F** に占領された。当初は朝鮮半島の統一政府樹立が目指されたが、米ソ対立の激化により、南北は北緯38度線で分断され、南部は **G** が、北部は **H** がそれぞれ成立した。その後、**H** が朝鮮半島の統一を目指して南部へ侵攻したことから朝鮮戦争が勃発した。<sup>(1)</sup>

インドネシアは、日本の降伏直後に独立を宣言し、**I** が大統領となった。ベトナムは、1945年9月に **J** がベトナム民主共和国の成立を宣言したが、ベトナムの宗主国であったフランスはこれを認めず、阮朝最後の皇帝である **K** のもとベトナム国を発足させ、ベトナム民主共和国と交戦した。<sup>(2)</sup>

東南アジアではそのほか、フィリピン、ビルマ、マレー半島(マラヤ連邦)、カンボジア、ラオスなど東南アジアの国々は次々と独立を果たした。<sup>(3)</sup>



問3 I ~ K に入る人物の組み合わせとして適切なものを、次の①  
~⑥のうちから選べ。

3

- ① I アウン=サン  
J スカルノ  
K ホー=チ=ミン
- ② I バオダイ  
J ホー=チ=ミン  
K シハヌーク
- ③ I ゴ=デイン=ジエム  
J バオダイ  
K アウン=サン
- ④ I シハヌーク  
J ゴ=デイン=ジエム  
K バオダイ
- ⑤ I ホー=チ=ミン  
J シハヌーク  
K ゴ=デイン=ジエム
- ⑥ I スカルノ  
J ホー=チ=ミン  
K バオダイ

問4 下線部(1)に関する説明として適切でないものを、次の①～④のうちから選べ。

4

- ① 国際連合軍、中国の人民義勇軍が朝鮮半島に派遣されたことにより、戦線は38度線で膠着<sup>こうちやく</sup>した。
- ② 日本に駐留するアメリカ軍の朝鮮半島への出動後、日本国内の治安維持をはかるため、1950年8月に警察予備隊が創設された。
- ③ アメリカ軍の軍需品調達により、日本で特需景気がおこった。
- ④ 1953年に協定が結ばれ、朝鮮戦争は終結した。

問5 下線部(2)について述べた次の記述ア・イの正誤の組み合わせとして適切なものを、下の①～④のうちから選べ。

5

ア ベトナムの再植民地化を狙ったフランスは、ベトナム民主共和国との戦争に突入した。しかし、ベトナム北西部のディエンビエンフーに建設していた巨大軍事基地が陥落し、フランスは敗北した。ジュネーヴ休戦協定が結ばれ、フランスはインドシナから撤退した。

イ アメリカがジュネーヴ休戦協定への調印を拒否したことが発端となり、ベトナムは南北に分断、その後のベトナム戦争へとつながった。

- ① ア = 正           イ = 正
- ② ア = 正           イ = 誤
- ③ ア = 誤           イ = 正
- ④ ア = 誤           イ = 誤

問6 下線部(3)に関する説明として適切なものを，次の①～④のうちから選べ。

6

- ① フィリピンは1946年に，マレー半島(マラヤ連邦)は1957年に，それぞれイギリスから独立した。
- ② ビルマはオランダから独立したが，1962年に軍事クーデターがおこった。
- ③ カンボジアは，1953年にフランスから正式に独立した。
- ④ ラオスは，1953年にアメリカから独立し，東西冷戦では中立の立場をとった。

問7 第二次世界大戦後の南アジア・中東地域の情勢についての説明として適切でないものを，次の①～④のうちから選べ。

7

- ① インドではイギリス植民地からの独立を目指した運動が高まり，1947年にムスリムが多数を占めるインド連邦とヒन्दゥー教徒が多数を占めるパキスタンに分離独立した。
- ② インドの独立運動を主導したガンディーは，インド独立後も対立が続くムスリムとヒन्दゥー教徒へ融和を説いたが，狂信的なヒन्दゥー教徒に暗殺された。
- ③ 1948年に，ユダヤ人国家であるイスラエルの建国が宣言されたが，これに反対するアラブ諸国とイスラエルの間で第一次中東戦争がおこった。
- ④ イランでは，第二次世界大戦後に首相のモサッデグが石油を国有化したが，クーデターにより失脚した。

次の **Ⅱ** の問題は旧課程の世界史の問題です。「世界史(旧)」の受験者が解答してください。(解答番号は **8** ～ **14** )

**Ⅱ** 下のA～Gは、見出しの年におこった出来事に関する記述から成り立っている。それぞれに含まれる2カ所の[ ]内の語句 a・b および c・dのうちから、それぞれ正しいものを選び、その組み合わせを、次の解答群から選べ。(28点)

<解答群>

- ① a－c      ② a－d      ③ b－c      ④ b－d

A 1920年

**8**

この年に設置された国際連盟は、[ a. アムステルダム b. ジュネーヴ ] に本部を置いた。アメリカ合衆国の不参加、敗戦国とソ連の排除、また侵略国家への制裁手段が不十分であるなどの問題があったものの、世界平和をめざす史上初の大規模な国際平和機関であった。

しかし、戦後しばらくは、国境画定などをめぐって国際紛争が続いた。この年、ポーランドは、プロイセン・オーストリア・ロシアによって分割されていた領土の回復を目的に、ソヴィエト政権下のロシアに侵攻し、[ c. ウクライナ d. ザカフカース ] の一部を獲得した。

B 1922年

**9**

イタリアは、戦勝国であったが領土を拡大することができず、ヴェルサイユ体制に不満を抱いていた。北部の都市で工場占拠やストライキが拡大するなか、ムッソリーニが国粋主義を掲げてファシスト党を結成した。ファシスト党は、この年に[ a. ミラノ b. ローマ ] への進軍を強行して政府に圧力をかけ、国王の命令でムッソリーニ内閣を樹立した。1924年には、[ c. アルバニア d. ユーゴスラヴィア ] からフィウメを奪って併合し、ムッソリーニは国民の支持を得た。

C 1924年

10

第一次世界大戦後、債務国から債権国に転じたアメリカは、世界経済の中心になり、好景気を迎えた。多くの大衆文化が生まれる一方、価値観の保守化が進んだ。この年に制定された[a. 禁酒法 b. 移民法]は、その例である。

ドイツは、第一次世界大戦後、巨額の賠償金を課されたが、アメリカ資本の導入で支払方法と期限の緩和が、この年に提案された。これは、[c. ドーズ案 d. ヤング案]と呼ばれている。

D 1926年

11

第一次世界大戦によって大きな被害を被ったヨーロッパ諸国には、国際協調主義の空気が広がった。この年には、前年の[a. ロカルノ条約 b. ローザンヌ条約]の締結によって、ドイツが国際連盟に加入した。しかしその一方で、東ヨーロッパの新興国では、少数民族問題をかかえて国内のまとまりを欠いていた。この年、[c. ハンガリー d. ポーランド]では、独立運動の指導者ピウスツキがクーデタを起こして実権を握った。

E 1928年

12

この年、フランス外相の[a. ブリアン b. ポワンカレ]とアメリカ合衆国国務長官ケロッグの提唱で、不戦条約が調印され、国際紛争解決の手段として戦争に訴えないことを誓った。この条約には、最初15カ国が調印し、のちに63カ国が参加して、国際協調は高まったかに見えたが、翌年、[c. ニューヨーク d. ロンドン]株式取引所で株価が大暴落して世界恐慌が起こった。資本主義国の政治・経済・社会は危機的状況に陥り、各国の国際協調への関与は消極的になった。

F 1930年

13

この年にインドでは、[a. ガンディーー b. ネルー]が「塩の行進」を組織した。これは生活必需品である塩への課税を植民地支配の象徴ととらえ、彼は、アフマダーバードからダンディーの海岸までの約360kmを行進し、みずから海水から塩を作った。法をおかして塩づくりを行うことで、植民地支配に抵抗したものである。また、インドの諸問題を議論するため、同年、[c. イギリス d. フランス]がインドの諸勢力を招集して1932年までに3回の会議を行ったが、会議は紛糾し、成果はあがらなかった。

G 1932年

14

アラビア半島では、第一次世界大戦後イギリスの影響力が大きくなった。ワッハブ王国の再興をめざすイブン＝サウードは、イギリスの支援を得て独立し、さらに、アラビア半島の独立をめざした。彼は、ヒジャーズ王国の[a. フセイン(フサイン) b. レザー＝ハーン]を破ってヒジャーズ＝ネジド王国をつくり、半島の多くの部分を統一して、この年にサウジアラビア王国を建設した。また、イギリスの委任統治領であった[c. イラク d. トランスヨルダン]は、同年、王国として独立した。

次の **Ⅲ** ～ **Ⅴ** の問題は「世界史(新)」および「世界史(旧)」の受験者に共通の問題です。いずれの受験者も解答してください。(解答番号は **15** ～ **33** )

**Ⅲ** 下のA～Fは、キリスト教と仏教について見出し語のもとに記述したものである。各記述の正誤を判断し、その組み合わせを次の解答群から選べ。(24点)

<解答群>

- ① [キリスト教] = 正      [仏教] = 正
- ② [キリスト教] = 正      [仏教] = 誤
- ③ [キリスト教] = 誤      [仏教] = 正
- ④ [キリスト教] = 誤      [仏教] = 誤

A 信仰の始まり

**15**

[キリスト教] ユダヤ教の祭司やパリサイ派の指導者であったイエスが救世主として信じられるようになった。

[仏教] ガウタマ=シッダールタは煩惱を捨て去ることで解脱へと至ることを説き、ブッダと呼ばれるようになった。

B 経典

**16**

[キリスト教] イエスの教えなどを伝える『新約聖書』がヘブライ語のコイネーで記された。

[仏教] マウリヤ朝のカニシカ王が仏典の結集をおこなった。

C 分派

**17**

[キリスト教] ニケーア公会議において、キリストを神と同一視するアリウス派が正統教義とされた。

[仏教] 自身の悟りよりも人々の救済を重視する菩薩信仰が広まり、大乘と自称された。

## D 政治とのかかわり

18

[キリスト教] 当初はローマ帝国から迫害されたが、392年、コンスタンティヌス帝により国教化された。

[仏教] クシャーナ朝からの迫害にもかかわらず、仏教はガンダーラを中心とする仏教美術とともに中央アジアや中国に広く伝わることとなった。

## E 思想

19

[キリスト教] 正統教義の確立につとめたアウグスティヌスらは教父と呼ばれ、のちの神学の発展に寄与した。

[仏教] 竜樹(ナーガールジュナ)は「空」の思想を説き、後の仏教思想に大きな影響を与えた。

## F 中国への影響

20

[キリスト教] エフェソス公会議で異端とされたネストリウス派は、唐に伝わり、景教と呼ばれた。

[仏教] インドを訪れた玄奘は、ヴァルダナ朝のアショーカ王の保護を受けて仏教を学び、仏典を唐に持ち帰った。

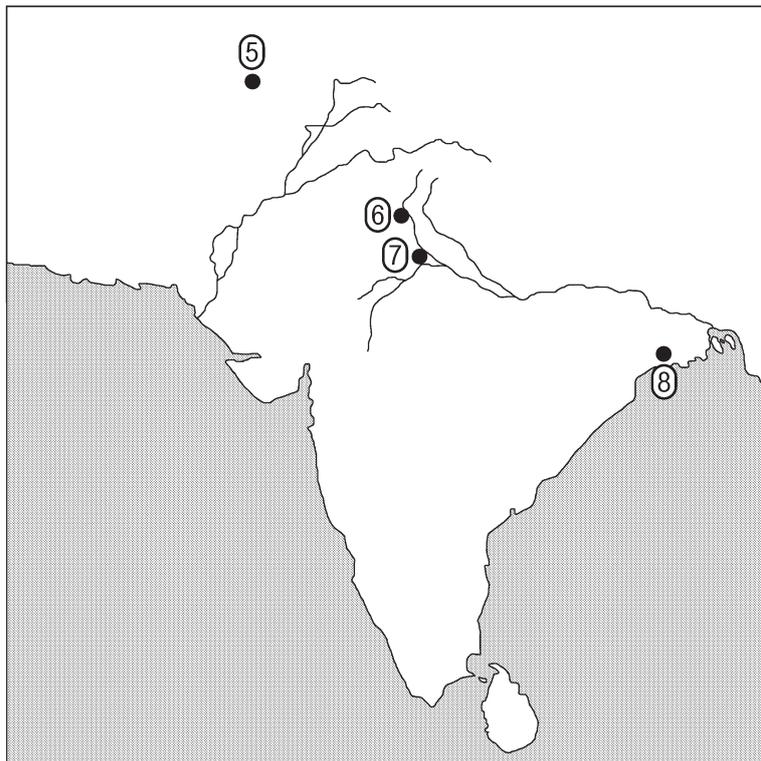
IV ムガル帝国の成立とインド＝イスラーム文化に関する次の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

問1 1526年にパーニーパットの戦いでバーブルが破った王朝を、次の①～④のうちから選べ。 21

- |         |          |
|---------|----------|
| ① サイイド朝 | ② トウグルク朝 |
| ③ ハルジー朝 | ④ ロディー朝  |

問2 アクバルが遷都した先の首都を、次の①～④のうちから選べ。また、その位置を、図中の⑤～⑧のうちから選べ。 首都 = 22 , 位置 = 23

- |         |        |
|---------|--------|
| ① アグラ   | ② カーブル |
| ③ カルカッタ | ④ デリー  |



問3 アクバルに関する記述として下線部が正しくないものを、次の①～④のうちから選べ。

24

- ① マンサブダール制を導入し、支配階層を組織化した。
- ② 土地測量にもとづく税制改革を進めた。
- ③ イスラーム教徒に課せられていた人頭税(ジズヤ)を廃止した。
- ④ アクバルの年代記『アクバル＝ナーマ』は、イスラーム地域で発達した写本絵画(細密画)により装飾された。

問4 カースト制を否定し、シク教の開祖となった人物を、次の①～④のうちから選べ。

25

- ① ガザーリー
- ② カビール
- ③ タバリー
- ④ ナーナク

問5 ムガル帝国の領土が最大となった時代の皇帝を、次の①～④のうちから選べ。

26

- ① アウラングゼーブ
- ② アクバル
- ③ シャー＝ジャハーン
- ④ バーブル

問6 ムガル帝国の公用語と地方語がまざって誕生した、現在のパキスタンの国語を、次の①～④のうちから選べ。

27

- ① ウルドゥー語
- ② サンスクリット語
- ③ ヒンディー語
- ④ ペルシア語

V 次に示すのは、君塚直隆著、『イギリス国王とは、なにか』から一部分を抜き出し、文の一部を空所にしたり、漢数字をアラビア数字に改めたりしたものである。これを読んで、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

第一次世界大戦の余波は君主制のありかたにも強い影響を及ぼしました。敗戦の責任を取るかたちで、ヨーロッパ大陸では500年にわたって最高の格付けを有する名家として君臨してきたハプスブルク家、さらにドイツ統一を成し遂げて大国となったプロイセンのホーエンツォレルン家が支配者の地位から放逐ほうちくされてしまいます。そして一時はヨーロッパ全体を震撼しんかんさせたオスマン家が滅亡(1)するとともに、大戦初期の連敗が響き、ロシアでは革命が勃発しました。300年にわたり統治してきたロマノフ王朝も崩壊してしまいます。

第一次世界大戦で敵味方に分かれた国のうち、ドイツ皇帝のヴィルヘルム2世、ロシア皇帝の 、そしてイギリス国王のジョージ5世はいずれも血縁関係で結ばれており、この大戦は「いとこたちの戦争」とも呼ばれました。敗戦とともにヴィルヘルムは  へと亡命し、二度と故国に戻ることはできませんでした。大戦中の革命により  は捕らえられ、1918年にボリシェヴィキ(社会主義)政権により一家全員が銃殺刑に処せられてしまいます。

(中略)

このふたりの皇帝(註)は自国にとって戦況が危うくなると、それぞれ首都から遠く離れた大本営に籠もりきりになり、国民の前に姿を現すことがなくなりました。これに対して、戦争指導を政府や軍に任せていた立憲君主であるイギリスのジョージ5世は、開戦とともに、国民の規範になろうと努力します。戦争中は、宮殿での晩餐会に酒類はいっさい出さず、暖房や照明も必要最小限にとどめ、お風呂もお湯は5～6センチだけにしてお湯は水で済ませました。このことは国民のあいだにも広く知られ、王は見本を示しました。

(中略)

この大戦を通じて、ジョージ5世は「国父」となりました。国王にとってこの大戦は国民とともに戦って勝利を得たものでした。また国民の側にとってもこの大戦は「王様と一緒に戦った戦争」だったという記憶がしっかりと刻み込まれていくことになるのです。ジョージ5世はまさに大衆民主政治の時代にふさわしい王となり<sup>(2)</sup>ました。

しかし大戦後のイギリスは経済的にも疲弊しました。戦後復興を進めるなかで、自由党が党内分裂で没落する一方、新たに労働者たちからの絶大な支持を集めた労働党が保守党と並んで「二大政党」を形成する大政党へと躍進を遂げていきます。1924年に労働党はついに単独政権を樹立します。党が結成された頃は、君主制に批判的だった労働党政権の幹部らは、ジョージ5世という飾り気のない魅力的な王に引きつけられていきます。

また、世界恐慌の余波がイギリスにも襲いかかってきた1931年8月に、 C 率いる労働党政権が党内で分裂し、首相が辞任を申し出た際に、この難局にあたって保守・自由両党と協力して  C 首班の挙国一致政権を樹立させたのが、ほかならぬジョージ5世でした。政権成立直後の総選挙で挙国一致政権側は圧勝しました。これもまたバジヨットが指摘した「並みの大臣では渡り合えないほど経験豊かな王」へと成熟していたジョージ5世の手腕が発揮された瞬間だったのです。

(注)ドイツ皇帝とロシア皇帝のこと

問1 [下線部(1)に関して] オスマン帝国の最盛期を現出した第10代スルタンを、次の①～④のうちから選べ。  28

- ① スレイマン1世
- ② セリム1世
- ③ バヤジット1世
- ④ メフメト2世

問2  A にあてはまる、ロマノフ朝最後の皇帝を、次の①～④のうちから選べ。  29

- ① アレクサンドル2世
- ② エカチェリーナ2世
- ③ ニコライ2世
- ④ ピョートル1世

